

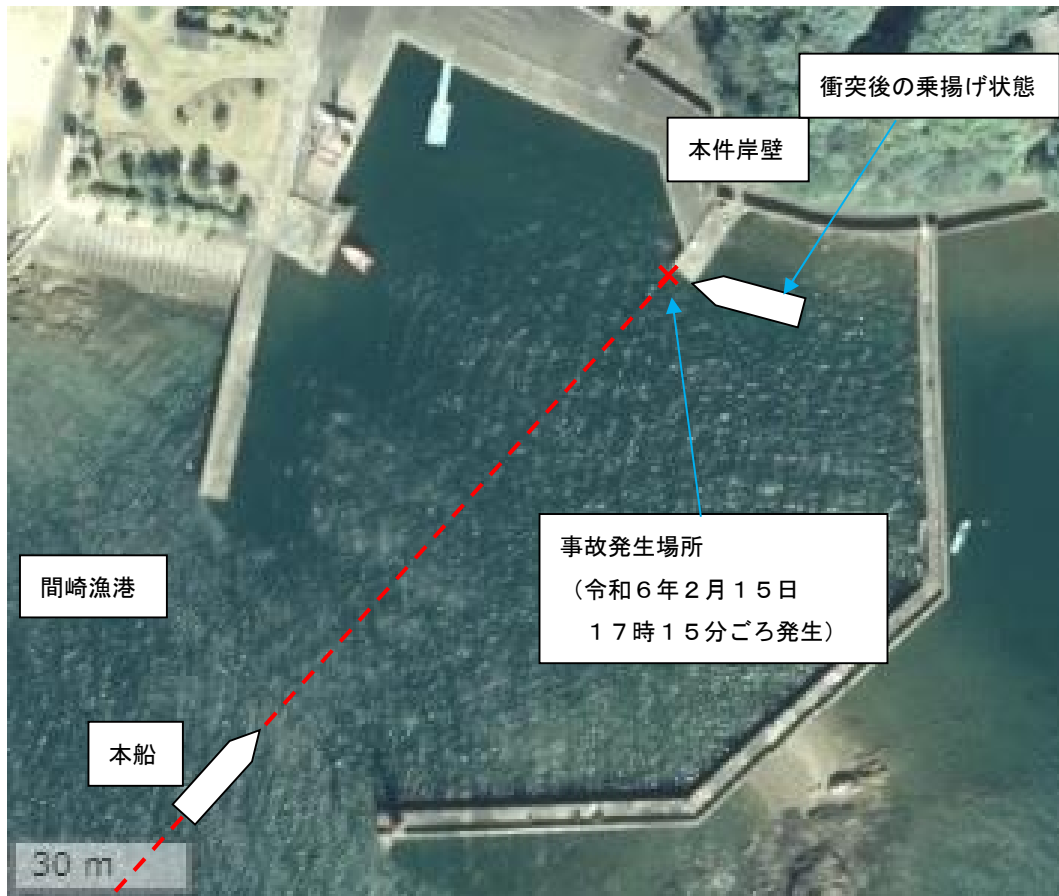
船舶事故調査報告書

令和6年7月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（岸壁）
発生日時	令和6年2月15日 17時15分ごろ
発生場所	三重県志摩市間崎漁港岸壁 間崎港東防波堤灯台から真方位027° 100m付近 （概位 北緯34° 17.2′ 東経136° 48.6′）
事故の概要	旅客船おくしまは、着岸作業中、主機が停止して操縦不能となり、岸壁に衝突した。
事故調査の経過	令和6年2月21日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客船 おくしま、19トン 243-24081三重、志摩マリンレジャー株式会社（A社） ディーゼル機関、船内機、サイクル、出力330.00kW、回転数 毎分2,616、6気筒、ボア110mm、使用燃料軽油、機関製造 年月不詳、平成4年9月進水
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	本船 右舷船首部外板に破口 岸壁 なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 6、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 上げ潮の初期 日没時刻：17時36分ごろ 志摩市には、令和6年2月15日10時11分に強風注意報が発表 され、本事故当時も継続中であった。
事故の経過	本船は、志摩市賢島港から間崎漁港を經由して同市志摩町和具への 旅客定期航路における旅客輸送を行っており、船長が1人で乗り組 み、旅客6人を乗せ、和具を出航し、同漁港に向かった。 本船は、間崎漁港に至るまで約11～12ノットの対地速力で航行 し、同港北側にある岸壁（以下「本件岸壁」という。）に向けて減速 しながら北東進した。 本船は、本件岸壁南端から約10～13mに接近して主機を中立運 転とし、前進行きあしで更に接近していたところ、主機が停止し、船 長はどうすることもできず、前進行きあしが残った状態で右舷船首部 が岸壁に衝突した。 船長は、船首からのロープを本件岸壁の手すりに係止し、降ろした 乗客の無事を確認した後、A社担当者を経由して海上保安庁に通報し た。

	<p>降ろされた乗客は、地元住民の船舶により賢島に運ばれた。</p> <p>本船は、船首のみで係留を続けていたものの、南西風により船尾が圧流され、岸壁南端から東側の浅所に乗り揚げた状態となったが、救助を待っていたところ潮位が上昇して離礁し、船長が主機の始動操作をしたところ、始動できたので、自力航行して賢島港に着いた。</p> <p>本船は、平成4年9月に進水し、令和6年2月1日に主機が換装され、燃料油タンクの取出弁が約32年間点検整備されていなかった。</p> <p>本船は、本事故後、僚船の乗組員によって点検が行われた結果、燃料油タンクからつながる油水分離器に空気の混入が認められた。</p> <p>本船の燃料タンクは、機関整備会社によって残った燃料油を移されて清掃された。</p> <p>機関整備会社担当者は、主機及び燃料油タンクの点検を行った結果、同タンク内に異常が認められず、燃料油タンクの取出弁の弁棒とグランドパッキンとの間に生じた隙間から空気が混入し、燃料油を主機に供給できない状態になった可能性があると思ったので、同取出弁を新替えした。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.2m、船尾約1.3mであった。</p>
<p>分析</p>	<p>本船は、燃料油タンクの取出弁が約32年間点検整備されていない中、本件岸壁に向けて接近中、同取出弁の弁棒とグランドパッキンとの間に生じた隙間から空気が混入したことから、燃料油の供給が阻害され、主機が停止し、前進行きあしが残った状態で岸壁に衝突した可能性があると考えられる。</p> <p>本船の主機は、燃料油に空気が混入して停止したものの、再始動できたことから、燃料油タンクの取出弁から空気が混入した状況を明らかにすることができなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、燃料油タンクの取出弁が約32年間点検整備されていない中、本船が本件岸壁に向けて接近中、同取出弁の弁棒とグランドパッキンとの間に生じた隙間から空気が混入したため、燃料油の供給が阻害され、主機が停止し、前進行きあしが残った状態で岸壁に衝突した可能性があると考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>A社は、本事故後、主機及び関連機器を点検、主機以外の燃料油タンクの取出弁を新替え、ドライブレコーダーを設置することとした。</p> <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船舶所有者は、燃料油タンクの取出弁を含む燃料油配管系統の関係諸弁について、使用年数を考慮して点検整備を行うこと。

付図1 事故発生場所概略図



※国土地理院 Web サイト空中写真を加工して制作